2023 年度　骨髄バンクチャリティ「コンサートと落語会」について

毎年秋に開催されているコンサートと落語会は、骨髄バンクの普及啓発活動の一環として、また、当会の活動資金調達活動として今年で８回目となります。開催するにあたり県、市をはじめとした行政機関、ライオンズクラブ、団体や事業者の皆様、並びに報道機関などに御理解、御支援をいただいております。演目についてですが、本活動に共鳴されたヴァイオリン奏者の三戸氏を始めとするピアノ三重奏の感動の演奏と、骨髄提供体験者でもある桂 右女助師匠他の楽しい古典落語で構成されています。また、演目の合間の骨髄移植体験者と骨髄提供体験者のトークも、来場者の当会活動への概要を理解するうえで役立っていると聞いております。是非ご一緒に憩いのひと時を楽しむとともに、患者や患者家族のことも思い起こしていただければ幸いです。

■開催日：2023 年 11 月 18 日（土）　開場 13 時 30 分、開演 14 時 00 分
■場所：成田市文化芸術センター３階ホール
■チケット代金：2500 円（学生 1000 円、小学生以下不要）
■チケット申込：E-mail　8ns3um@bma.biglobe.ne.jp　または　TEL/FAX 043-497-5083
北村宛に御連絡ください。
記載内容：①申込者名　②連絡先（電話番号など）　③チケット枚数
■お知らせ
成田山新勝寺様のご厚意により、下記に参加できます。（参加自由：1,500 円）
11：00～大本堂での御護摩、光輪閣での法話、精進料理

・・・ピアノ三重奏・・・

≪演奏曲目≫
フランク：フーガと変奏曲 作品 18
（ピアノ独奏）
カサド：親愛な言葉（チェロ＆ピアノ）
クライスラー：愛の喜び
（ヴァイオリン＆ピアノ）
シューベルト：ピアノ三重奏曲第１番
変ロ長調 作品 99

ヴァイオリン：三戸素子（みと もとこ）

５歳からヴァイオリンを始める。桐朋学園付属「子供のための音楽教室」を経て桐朋学園大学を卒業。その後、スイス・ヴィンタートゥール音楽院を経てオーストリア国立モーツァルテウム音楽大学を卒業。現在日本に本拠地を移し、国内及びヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、中国各地で活躍している。日本国内の音楽家を中心とするグループ「クライネル・コンツェルトハウス」でも、意欲的なプログラムを展開し、新聞、雑誌等でも注目されている。ＣＤ録音の他、ＮＨＫほか海外での放送出演も多数。

チェロ：小澤洋介（おざわ ようすけ）

５歳でピアノ、11 歳からチェロをはじめる。カナダ・トロント大学を経てオーストリア国立ザルツブルクモーツァルテウム音楽大学留学。同大学卒業後ザルツブルク室内オーケストラの首席チェリストをつとめる傍ら、ソリスト及び室内楽奏者としてヨーロッパ有数のコンサートホールで演奏、ヨーロッパ、アメリカを中心として演奏活動を行う。12 年にわたる海外生活の後、日本に本拠地を移し国内はもとより、日本から海外に音楽を発信している。

ピアノ：高田匡隆（たかだ まさたか）

桐朋学園大学卒業、同大学在学中に、第 68 回日本音楽コンクール第１位、併せて増沢賞、野村賞、井口賞、河合賞を受賞。イタリア国立サンタ・チェチリア音楽院を首席で卒業。同時に「イタリア共和国大統領賞・シノーポリ賞」を日本人で初めて受賞。第２回仙台国際音楽コンクール、マリア・カラス・グランプリ・ピアノ部門（ギリシャ）、リスト国際ピアノコンクール（ドイツ）、モントリオール国際音楽コンクール・ピアノ部門（カナダ）など、数々の国際コンクールで入賞、優勝を果たす。第 53 回神奈川文化賞未来賞、第 18 回京都・青山音楽賞を受賞。武蔵野音楽大学及び桐朋学園大学ピアノ科講師

・・・落　語・・・

桂 右女助 師匠（落語協会所属）

1962 年千葉県多古町出身。海外観光ガイドなどを経て「三升家小勝」に入門。1993 年骨髄バンクドナー登録、2004 年骨髄提供に至る。2015 年四代目「桂 右女助」を襲名し真打昇進。一方、文学活動にも目覚め第 56 回千葉文学賞、第 10 回ちよだ文学賞、第 19 回湯河原文学賞を受賞している。昨今で言う二刀流、いやボランティア活動も含め三刀流の落語家である。

金原亭駒介（落語協会所属）

千葉県成田市出身。
2018 年 9 月、十一代目金原亭馬生に入門。
2020 年 2 月 1 日、前座となる。

・・・＜対　談＞・・・

樋口大悟（元患者 移植経験者 俳優）

新潟県糸魚川市出身の俳優・モデル・空手家。日本骨髄バンク語り部。空手三段。

25 歳の時に急性骨髄性白血病を発症し、一度は良くなるも再発。20 代半ばから 30 代前半を病いと共に過ごす。その後、骨髄バンクのドナーさんから骨髄移植を受け、現在にいたる。その経験の中で伝えたい想いが溢れていき、自身が企画・原案・主演の映画『みんな生きている ～二つ目の誕生日～』を制作。

2023 年 2 月より東京を皮切りに全国 30 数館で劇場上映。現在はデジタル配信、DVD などが好評レンタル販売中。イベント上映を行いながら講演活動なども行っている。その他、鍛えられた身体を生かして、映画、ＣＭ、広告などを中心に活躍中。

秋田　桜（ドナー経験者）

千葉県一宮町在住。2021 年、大学在学中に骨髄提供を体験。

大学 1 年生の時、学校に献血車が来ていて、授業の空き時間に献血した際に案内されたのが登録のきっかけでした。骨髄提供の時は 3 泊 4 日で入院して、全身麻酔で腰の骨髄からの採取でした。患者さんのことは、居住地域、年代、性別のみ聞いていますが、手紙には患者さんやそのご家族について書かれていて、やって良かったなと感動しました。特に母は、はじめ骨髄提供について不安がっていましたが、その手紙を見て「本当に素晴らしいことをしたんだね」と言ってくれました。入院中辛かったことも手紙を見たら全然気にならなかったし、ドナーになれるのは人生で 2 回までだけれど、もし機会があったらその時はまたやろうと思います。

（一宮町広報より抜粋転記）

【司会】　桂　右女助 師匠（詳細は前段参照）